



ヒルトン東京ベイ 2階

(有)橋本タ紀夫デザインスタジオ 榎原よしみ



【使用リブ：HY-DMクロスリブ・HY-DMウェーブリブ（曲壁面部）】

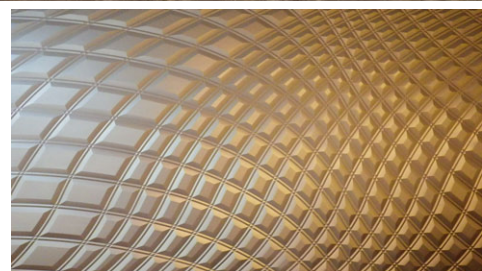


© Nacasa & Partners

HY-DMウェーブリブ



© Nacasa & Partners



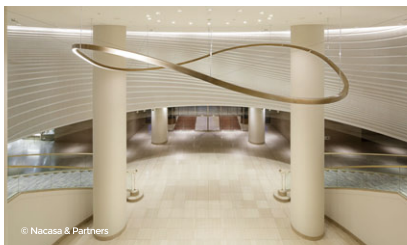
HY-DMクロスリブ

本人コメント

風・光・さざなみなど自然に関わる現象をテーマに空間構成したバンケットフロア。エントランスに面した吹き抜けの巨大 R 壁面と窓に面した Waiting Area の壁面にリブパネルを用いた。シンプルだが有機的なパターンを R 壁面に施すことにより波が吹き抜けを包み込むような空間になった。また窓に面した壁面では時間帯によって光と影でリブの表情が変化するアートウォールとなった。受賞して最高に嬉しいです！！

審査コメント

リブという材料を使用する場合、あるパターンをリピートして使用する事が非常に多い。ところがこの二つの作品には、連続するパターンは存在せず、ダイナミックな動きのある一筆書きの様な造形として表現されている。その造形の美しさはまるでアートの様な存在感を持ち合わせていて、その空間の主役となっている。リブ材という材料の固定概念を壊す素晴らしい使い方と完成度が高く評価された。(小坂竜)



© Nacasa & Partners



梅の花水戸店

tsukumo

吉村繁



【使用リブ：マスクー梅】

本人コメント

第5回サカイリブを使ったデザインコンペ 銀賞を受賞させていただき、ありがとうございます。熟練した職人さんによる限られた技術だった漆喰彫刻を、今回は石膏ボードにデータ化した梅柄を彫刻し、塗料化した漆喰を現場にて塗布することで現代版漆喰彫刻として表現できたのではないかと思います。現代(いま)の技術と素材が人や場所、時間やコストといったいくつかのハードルをすべてクリアしてくれました。

審査コメント

梅の花をモチーフにしたエンボス状の沢山の柄を壁面や天井の一部にあしらっている。それらは非常に繊細に形作られているため、目を凝らさないと分からない程であるが、やわらかく優しい空気感を作り出すことに成功している。控えめな表現にもかかわらず存在感のある作品である。(橋本夕紀夫)





「喜多方市新本庁舎」

(有)ナスカー級建築士事務所

杉下浩平



【使用リブ：喜多方産桐材突き板張り孔あき MDF 板】



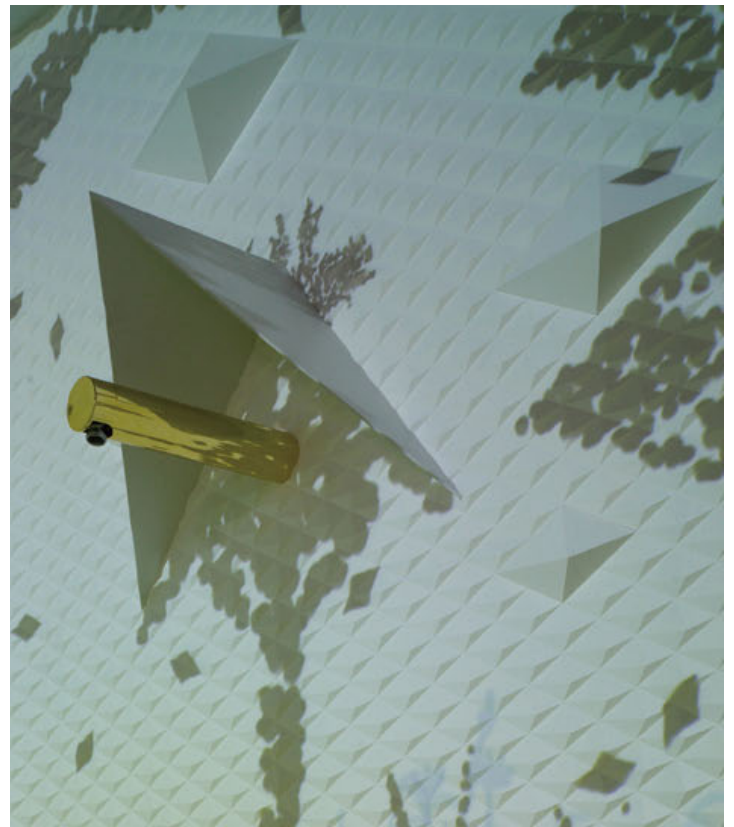
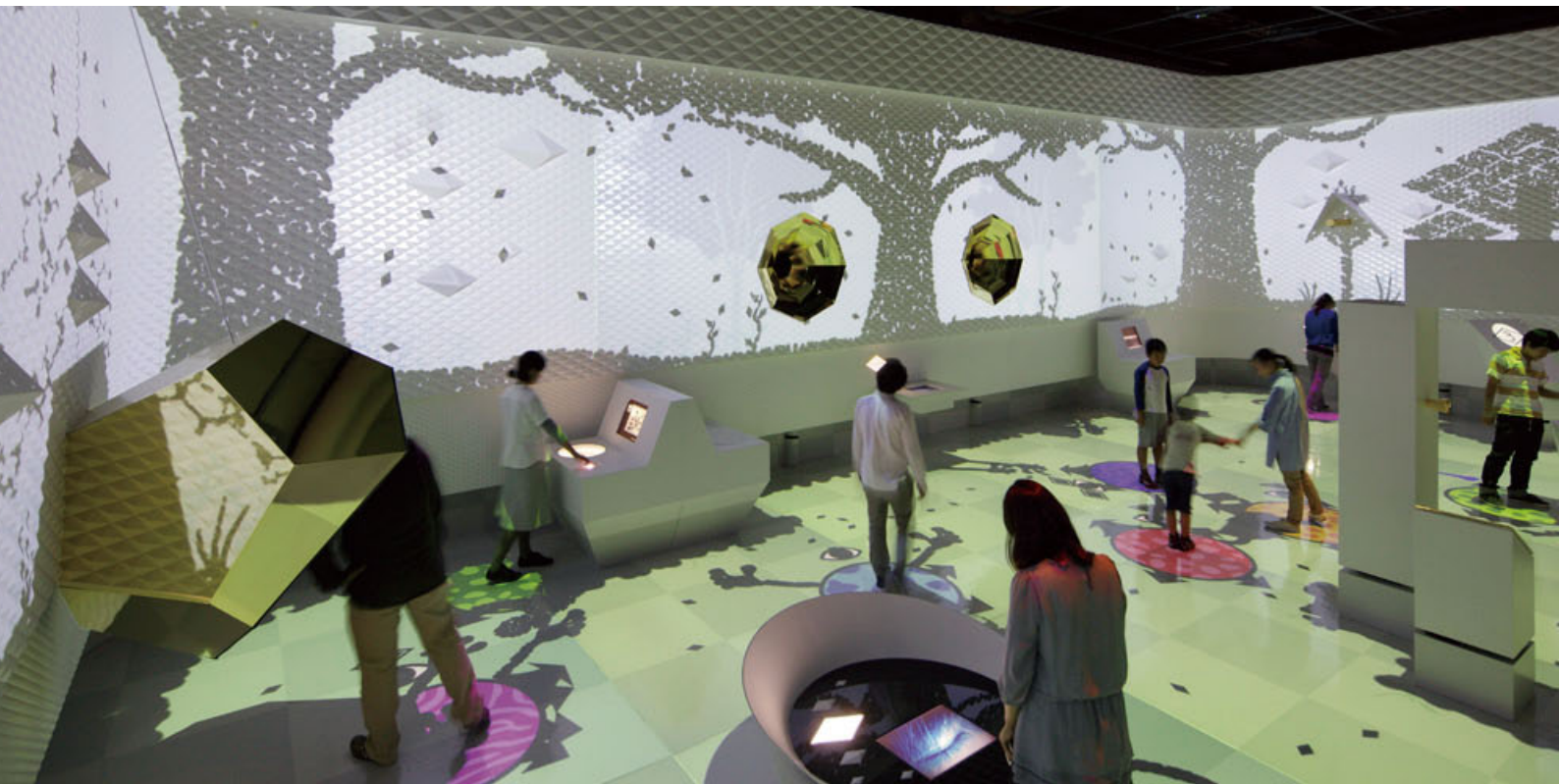
本人コメント

喜多方産の桐材を突板に用いた有孔板です。喜多方の伝統的な染型紙“会津型”の『兜柄』をモチーフにしています。突板用の丸太探しから幾度にも渡るサンプルチェックまで、サカイ社長をはじめ、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

審査コメント

地場産の桐を扱った吸音壁の素材の質感に面白味や味わいを感じます。サカイのファッションリブが、多様な可能性をますます広げ確実に表現の幅が豊かになってきていると感じさせる作品である。(古谷誠章)





本人コメント

思い入れのある賞に再び入賞でき、とてもうれしく思います。リブ材を化粧材としてだけでなく、より発展的なかたちで実用し、チャレンジしていくことで、これからの商品開発のヒントにもなればと思い応募しました。

審査コメント

リブ素材の上にデジタルサイネージをかぶせる方法は、リブの素材を生かすと同時に、リアルとバーチャルの組み合わせの空間となった。サカイリブの素材を通して、空間に於けるデザインの新たな試みは今後のインテリアデザインの可能性を再発見する機会でもあった。(水谷壮市)

審査員特別賞



水谷壮市賞 株式会社アトリエ KUU 熊沢信生様・荒川志織

「モーツァルト兵庫駅ナカ保育園」

【使用リブ:特注 KU-01】



本人コメント

駅の高架下の保育園の改装計画だった。入り口から保育室に行くまでに細長い通路通らなければならないテナントだった。この単調な廊下が楽しい保育室になるように壁面にサカイのリブを施す事を考えた。子供達の手の届く範囲に、形状が異なる凹凸のリブ材を貼った。子供達が思わず触りたくなる、リズム感のあるワクワクする廊下となった。今まで通過するだけだった廊下が子供達が走り回る保育室となった。新しくなった保育園で子供達は壁を手で触り、走ったり歩いたり、指先の感覚を楽しんでいた。その子供達を見て、私たちも楽しい幸せな気分になった。

審査員コメント

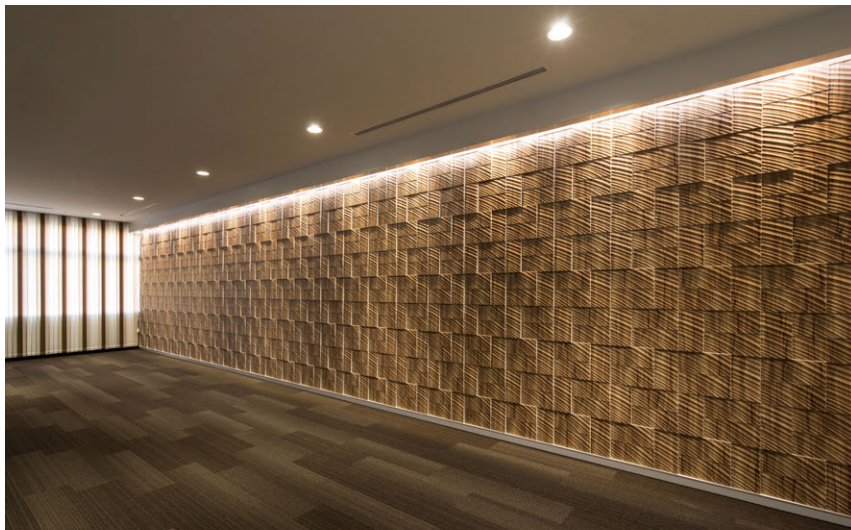
サカイリブの形状を利用し、壁に「触る」という行為を取り込む事は、空間デザインの新しい発見である。このようなサカイリブの素材を通しての空間に於けるデザインの新たな試みは今後のインテリアデザインの可能性を再発見する機会でもあった。(水谷壮市)



小坂竜賞 東急リニューアル(株) 桑田康之・多田英明

「某事務所」

【使用リブ:特注ウェーブ+シート貼り】



本人コメント

波型のリブによって生まれる木目の陰翳の表情。150×300mm パネルの厚みの違いにより左右で変化する表情。表面の木目と小口の白による2つの表情。パネルを連続して仕上げることで3層のレイヤーが交錯する、多彩な肌理を持つ表現となることを目指しました。

審査員コメント

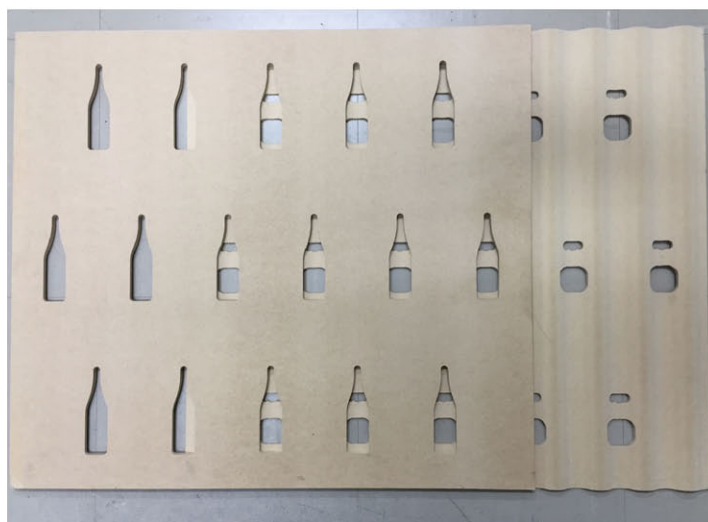
この作品は、引いて見たときのパネルの凹凸による陰影の迫力と近くから見たときの繊細な陰影と表情という魅力を併せ持っている。立体感のあるパネルをずらして貼る陰影の操作とそこに木目シートを貼るという細やかな3層レイヤーの考え方が素晴らしい、まるで無垢の木板を削った彫刻の様な存在感がある。(小坂竜)



古谷誠章賞 岡山理科大学工学部建築学科弥田研究室 弥田俊男

「醤油瓶パネル屋台」

【使用リブ:特大波 1050+ルーターカット】



本人コメント

大学の研究室と地域住民との協働による伝統的建築物保存再生活用プロジェクトの中で、サカイリブの大波パネルを活用した屋台をデザインすることで、学生と地域住民や市民との貴重な機会を彩る事ができ、さらに評価された事が大変嬉しいです。

審査員コメント

使用用途が楽しくてユニークでした。サカイのリブの技術がこんな風にユーモラスに使われるのはいいですね。このような作品により、確実に表現の幅が豊かになってきています。(古谷誠章)

審査員特別賞



禿真哉賞

(株)クルール 小丸 和弘

「近畿大学水産研究所」

【使用リブ:特注風のドルフィン 05】



本人コメント

オリジナリティとコストとの兼ね合いは常にぶつかります完成された素材である「風のドルフィン」に少しアレンジを加える事で素材の特性を更に強調できたと思いますリピート巾もイメージに近く、企画製品を使用しながら迫力ある情景を表現する事ができたと思います。

審査員コメント

水面のようにも地形のようにも見え、リブ材の限られた厚みの中で、有機的で自然に近い表現ができていますと感じました。照明の効果も手伝い、起伏の陰影もきれいで、また、パターンのリピートを感じさせないのは、慎重なスタディを重ねた結果だと思っています。(禿真哉)



橋本夕紀夫賞

(株)乃村工藝社 谷 高明・浦田晶平

「クオーツタワープロジェクト」

【使用リブ:特厚風のドルフィン 05・特注リブ】



本人コメント

総合メディカルビルであるクオーツタワーのインテリアデザインは、化学では証明しきれない、人が心地よく感じる “ゆらぎ” を表現することをコンセプトとしています。“ゆらぎ”の要素となる「光と影」「波のせせらぎ」「心地よいそよ風」等をインテリアデザインに取り込む一環として、サカイリブ材を採用させて頂きました。「葉の重なりによる繊細な影」「流れるドルフィンリブによる複雑な光のグラデーションライン」をサカイリブ材にて表現し、レストランの壁面に美しい自然の「光と影」の表情を生み出す事に成功しました。上記のデザイン意図が評価され、このような賞を頂けたことは大変嬉しく思います。今後もサカイリブの可能性を探っていこうと思います。

審査員コメント

リブ材は光を受けると陰影ができ、深みのある表情をかもし出すことができます。通常はとかくこの効果に過剰に頼りがちであるが、この作品は数ミリ単位で立体を形成し、わずかな陰影によって独特な質感をつくり出している。(橋本夕紀夫)



鈴野浩一賞

ACTIVE DESIGN 佐藤 栄次

「DIY」 【使用リブ:波 76】

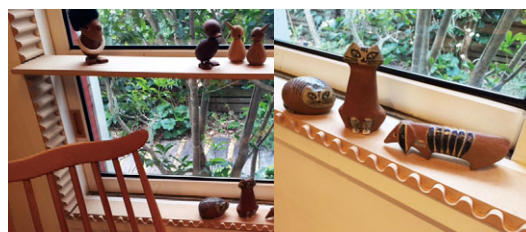


本人コメント

パーソナルユースの素材としての可能性を提案した DIY のためのプロトタイプです。リブ波の形状は、装飾性と機能性を兼ね備えており、MDF のリブ材は加工性にもすぐれ、DIY の素材として高いポテンシャルを持っていると思います。

審査員コメント

ビフォーアフター的な見せ方のうまさもありますが、これほど簡単な操作で窓周りに豊かさを与える手法に共感を覚えました。リブ材を断面的に見せる意匠性と、脱着可能な棚板を取り付けるための機能を同居させたことが、他の作品には無い新鮮さがあったと思います。(鈴野浩一)



サカイ賞



サカイ賞 (株)竹中工務店 碩昭博・今北克人



「リッチモンドホテルプレミア浅草インターナショナルレストラン『プレミアムラウンジ』」 【使用リブ: モンド】



本人コメント
「浅草に新しい流れを～」というコンセプトに基づき、直線的な流れの 패턴を採用することで、今の浅草ではなく、浅草の流れを変えるような、一歩先を見据えたデザインを表現しています。このような賞を頂き大変嬉しく思います。

審査員コメント
4種類 × 厚さ2種類 × カット寸法で、「モンド」の魅力を最大限に表現しています。天井と壁に一体感を持たせることにより、空間がよりダイナミックに演出されています。(サカイリブ)



サカイ賞 大川設計(株) 大川龍将



「玉越東郷店改装工事」 【使用リブ: 風 03】



本人コメント
サカイ賞ありがとうございます。この店舗の方針が（街のオアシスを目指します）でしたのでサカイリブとCGフィルムでオアシスをイメージしてみました。木漏れ日とサカイリブがマッチしたと思います。

審査員コメント
大胆に切った天窗の内側に採用、いつまでも木立と円の光と陰に操られ姿を変える、「風」の魅力を最大限に引き出しています。(サカイリブ)



サカイ賞 (株)深田建築デザイン研究所 深田勝哉



「上野東天紅改装工事」 【使用リブ: 特注風のドルフィン 斜め貼り】



本人コメント
風のドルフィンを斜めに使い、それに対し90度の角度で光を面に沿わせ、反射に変化を持たせることによって生まれる想定しない光を表すようにした。床にはリブの斜め貼りデザインを活かすための水面を表すカーペットをデザインし、リブを引き立てている。今後もリブの可能性をデザインしていきたいと考えています。

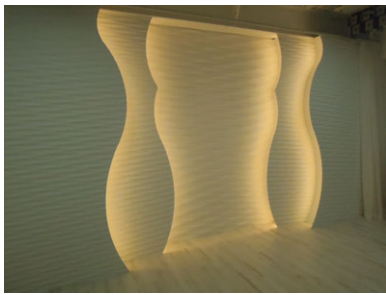
審査員コメント
風のドルフィンを全て斜めに使用し、繊細かつ大胆な同系のカーペットのマッチングと効果的な照明により、リブに命が与えられ式場をエレガントで華やかに引き立てています。(サカイリブ)

優秀作品賞



アートパイン(株) 小松光雄

「ナージャ洋装館」 【使用リブ: 風のドルフィン 06・07】



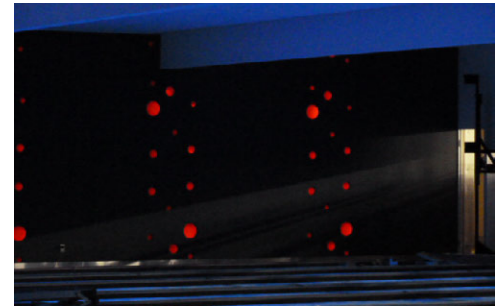
本人コメント

ひかりの強・弱・ひかりの当て方(バック・正面)によりドルフィンの柔らかな曲線の陰影がでたり、白くフラットな面にしたり出来る。ドルフィンを白く塗装しているので、照明の色温度により色の変化が得られる。写真スタジオなので、一面バックで多ショットを可能にした。



(株)大広 野澤 徹 (総合プロデューサー)
水谷壮市デザイン事務所 原田周子 (デザイナー)

「ハマボール」 【使用リブ: 特注穴あきパネル】



本人コメント

ボウリング場という大空間をデザインするにあたり、単調になり易い壁面にアクセントをつけるために特注穴あきリブを使用。特注穴あきパネルによって落ち着いた壁面に対してポップで軽やかで空間に変化を与える事が出来た。結果、施設コンセプトの「水と光をテーマにした大人のリフレッシュ空間」を、アーバン感覚のアクティブな大人の遊び場とスポーツボウリングという2面性の有る空間に彩りを添える事が出来た。



北浜 alley (株) 井上秀美

「ホテル パールガーデン」 【使用リブ: 角山 62 (タモ)】



本人コメント

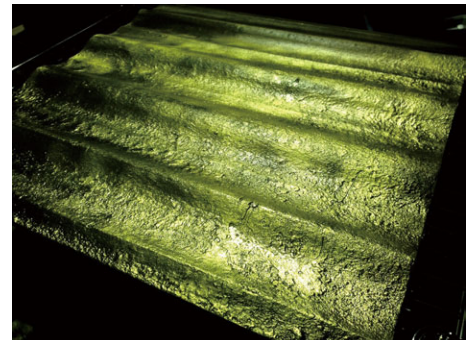
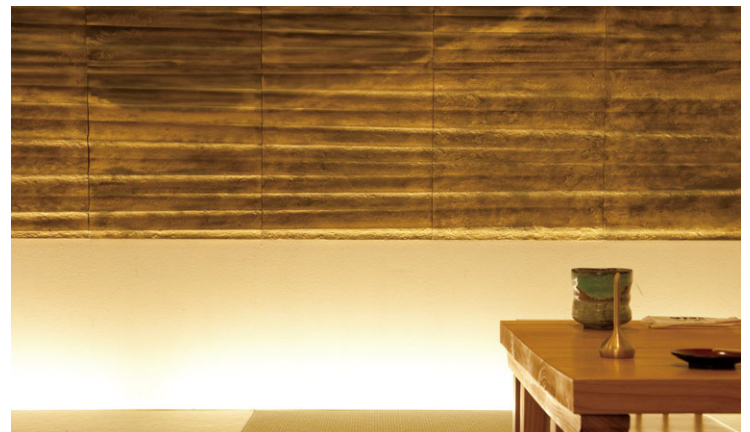
「癒しをテーマとしたホテルでレストランも至福のひとつを提供する」という施主のコンセプトを洋と和の伝統美とモダニズムを融合した空間とした。サカイリブの多様なデザインを利用することで、70歳を過ぎての制作活動に挑戦的なデザインを考案できた。



ハピラス株式会社 笹嶋 悟



「廻転とやま鮨 富山きときと空港店」 【使用リブ: ドレープスモール】



本人コメント

富山の空の玄関口として空港内のすし店のシンボルアートとして制作。日本海は富山湾をイメージ、富山県には銅鑄物の街高岡がありその鑄物技術を使った。造形の穏やかな波模様を無骨でダイナミックな鑄物の肌で表現する事により、日本海の荒波と豊富な海の恵みを持つ富山湾を表現した。リブ材自体をパネル原型とし、砂型を成型し銅にて鑄造した。 効果：日本海の荒々しさをリブの繊細で穏やかな造形を富山の鑄造技術にて表現することにより、富山湾の穏やかさと荒々しさを表現する事が出来た。

優秀作品賞



M&Hy's 村上光信

「(仮称) 丸の内オフィス」 【使用リブ:ランダム三角 (モミ)】



本人コメント

CEO ピーター・グッドマン氏が求めた『禅』の世界観。視覚的にどこまで表現出来るか模索しました。シンプル且つ大胆に使い空間に馴染ませることで効果的な使い方ができたと思います。素材が放つ魅力を引き出したことが評価の一つに繋がったと解釈しています。



(株)安井建築設計事務所

精木賢一・赤川貴世友・稲垣雅夫 (元所員)
アート協力: 株式会社エアーアンドエム

「大阪国際空港旅客ターミナル ANA LOUNGE」
【使用リブ: サンダー 2400】



本人コメント

今回、商家の格子や「水の流れ」など「畿内」のモチーフをデザインに展開しています。エントランスに「さざなみ」を表現したアート壁を設けることを考え、今回「サンダー」を採用しました。関係者皆様のご協力に感謝いたします。



高島屋スペースクリエイツ(株) 熊谷 信

「させぼパールシー九十九島 海賊遊覧船『みらい』」
【使用リブ: G ウェーブ 1500・特注羅針盤・特注アストロメーター】



本人コメント

西海国立公園「九十九島」を巡る最新の遊覧船が「みらい」です。船内の天井は規則に適合した不燃素材を使用し、さざ波のつくる光と影をデザインしています。また、海賊船のイメージから羅針盤や天体観測機器もデザインモチーフとしてとり入れています。



裁花建築設計事務所 針谷 賢

「日本料理 羽生 花むら」
【使用リブ: 特注 60・100・80・1150・1200】



本人コメント

受賞の知らせを受けて大変嬉しく思っております。特寸サイズに加工したルーバーは、株式会社サカイの方々や現場施工者らのご協力により実現したものです。この場を借りて改めて御礼申し上げます。有難うございました。

優秀作品賞



(有)橋本タ紀夫デザインスタジオ

館田 磨理子・リュウ ビクター



「安与ホール」

【使用リブ:特注ウェーブ】



© 伊奈英次

本人コメント

既存の折上げ天井全体に、大胆な構成で流れを表現しました。リブ材で設えたことにより奥行き感がでて陰影効果が引き立ち、モダンな天井画のようになったと思います。受賞出来て嬉しいです。



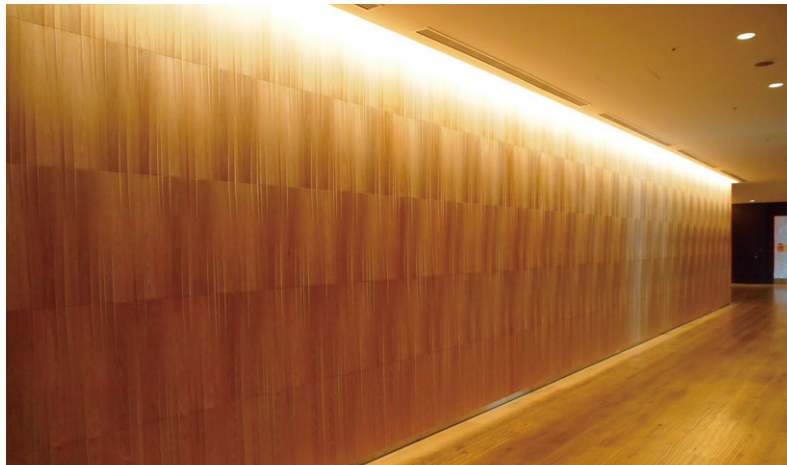
(株)隈研吾建築都市設計事務所

川西 敦史



「丸の内2丁目計画（仮称）新築工事」

【使用リブ:特注ランダム三角（栗）】



本人コメント

近代モダニズムの傑作：吉田鉄郎設計「旧東京中央郵便局」を商業空間として再生させるプロジェクト。吉田鉄郎の厳格なモジュールとモノクロでクールな空間に商業としての華やかさを纏わせた。食という最も身体感覚に近い行為を包む空間として飲食店フロアは堅い壁面を繊細な線で切削微分し、樹皮、或いは皮膚のように柔らかな表情を纏わせた。



(株)オリバー

稲垣 雅夫

「日本橋 榛原」【使用リブ:特注ダイヤ】



本人コメント

創業 200 年の和紙店の建て替えである。日本橋「榛原」のオリジナル模様の「色硝子」をモチーフに内外装をデザインした。外装はデジタルファブリケーションによる 3D カワラブリックで、内装は 3D デジタル加工リブを採用した。

注) 外装デザイン: (株)日建設計

内装デザイン: (株)オリバー 稲垣雅夫

総評

再び審査をして、サカイのファッションリブが、パターン、素材感、使用用途など、いずれも多様な可能性をますます広げているのが実感されます。パターンでは金賞の「ヒルトン東京ベイ」など、繰り返しでもなくもはや完全に自由自在な趣き、銀賞の「梅の花」は定番の愛らしい表現が、なんと厄介な天井の感知器までも取り込んでしまっただけでもこれとやられたという感じで見事です。素材感では地場産の桐を扱った吸音壁の同賞「喜多方市庁舎議場」や審査委員特別賞の「某事務所」、優秀作品賞「丸の内二丁目計画（仮称）」などの質感に面白味や味わいを感じます。審査委員特別賞の「モーツァルト兵庫駅ナカ保育園」のように、触るテクスチャーとしての可能性も広がりそうです。使用用途で言えば、何と言っても私が審査委員特別賞に選んだ「醤油瓶屋台」が楽しくてユニークでした。サカイのリブの技術がこんな風にユーモラスに使われるのはいいですね。同じく審査委員特別賞の「DIY」の窓額縁も意表を突かれました。その他にもよりダイナミックなデザインの方へ向かうもの、よりチャームなデザインを目指すものなど、確実に表現の幅が豊かになってきています。(古谷誠章)